



平成 29 年 12 月 19 日

各 位

会 社 名 日産車体株式会社
 代表者名 取締役社長 木村 昌平
 (コード番号 7222)
 問合せ先責任者 常務執行役員 牛込 正明
 (TEL. 0463-21-8001)
 当社の親会社 日産自動車株式会社
 (コード番号 7201)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 11 月 8 日公表の平成 30 年 3 月期の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	640,000	12,500	13,100	5,400	38.50
今 回 発 表 予 想 (B)	555,000	△1,700	△1,200	△4,500	△32.09
増 減 額 (B-A)	△85,000	△14,200	△14,300	△9,900	
増 減 率 (%)	△13.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	565,822	12,195	12,709	8,223	55.59

(修正の理由)

平成 29 年 11 月 17 日に当社ホームページにおいて公表いたしました「当社車両製造工場における完成検査に係る不適切取扱いに関する実態調査及び再発防止策検討結果報告について」(http://www.nissan-shatai.co.jp/NEWS/PDF/summary_of_final_vehicle_inspection_issue.pdf) の通り、当社は現在、完成検査工程の改善と生産運営の安定化に向けた対策を進めております。このことにより、11 月上旬の生産再開以降、生産工程のラインスピードを通常速度よりも落とした運営を行っております。2017 年度末に向けてラインスピードを通常運営に戻すよう鋭意対策に努めておりますが、それまでの間生産台数が前回発表予想時に対して約 16%減少し、そのことにより売上高の減少が見込まれます。また、業務体制改善や工程環境整備等の費用も発生することなどから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が減少し、前回予想を下回る見込みであります。このような状況を受けて、平成 30 年 3 月期通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上